

成人鼠径ヘルニアの術後再発および術後合併症に関連する因子の研究

1. 研究の対象

2012年1月から2019年4月に当院で鼠径ヘルニア修復術を受けた方

2. 研究目的・方法

【背景と目的】

鼠径ヘルニア修復術では、メッシュという人工の網を用いて穴をふさぐ手術方法が広く行われています。この方法により、術後再発率は1%前後にまで改善したとされています。しかし、近年多様なメッシュが製品化され、メッシュの留置方法にも様々な手法がとられ、学会の全国調査をみてもメッシュ法の手術成績は必ずしも期待通りのレベルに達しているとは言えないことが明らかとなっています。

今回、当院で過去に鼠径ヘルニア手術を行った症例のデータを検証し、再発および合併症の発生に関連する因子を明らかにすることを目的として本研究を行います。

【方法】

16歳以上を成人と定義し、術前因子（患者背景）および手術関連因子（術式、手術時間、出血量、術者の経験年数等）と再発・術後合併症の関連を統計学的に検討する。

【統計手法】

統計ソフトはJMP10を使用する。カテゴリ変数に関してはカイ二乗検定を行う。

【研究実施期間】

2019年9月2日～2020年4月

3. 研究に用いる試料・情報の種類

術前全身状態、鼠径ヘルニア分類、術式、手術時間、出血量、術者の経験年数、術後合併症、再発情報等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

熊本県熊本市南区近見 5-3-1 済生会熊本病院

096-351-8000（病院代表）

研究責任者：外科 辛島 龍一

以上